

小樽南ロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう



2023-2024 年度 R I 第 2510 地区目標

1. クラブの戦略計画を打ち立て、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジを見つけよう

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



重点項目

女性会員比率10%達成
ローターアクトの推進
心の健康(メンタルヘルス)づくりを目指す

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8100
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2024年2月16日発行
通巻第3041号

25

今週 2月16日のプログラム

- ファイヤーサイドミーティング (炉辺会)

来週 2月23日

- 3クラブ合同例会

再来週 3月1日

- 通常例会

■ 伊藤会員 年男卓話

■ 桂会員 能登半島地震医療支援卓話

■ ロータリーソング【奉仕の理想】

■ ゲストビジター紹介

第6グループ ガバナー補佐 佐藤 慶一様
小樽 RC 高木紀和様

■ 会長挨拶【三栖会長】



今期25回目の例会を宜しくお願い致します。

先週の土曜日の優秀高校生表彰式、青少年委員会の皆様、担当会員皆様、ご苦労様でした。

無事、終わり高校生を励ます事ができたと思います。

今日は、伊藤会員の年男卓話、桂会員の能登の現状等、楽しみです。

以上、宜しくお願い致します。

■ 出席委員会

2024年2月9日

総会員数50名 欠席者数12名

工藤、斎藤(英)、佐藤(公)、佐藤(勉)、田中、地山、保知、松尾、宮川、村越、盛、山下

■ 幹事報告

① 例会変更の案内はありません

② 先日メールでも御案内いたしましたが、2月16日(金)の例会は、夜間例会・ファイヤーサイドミーティング(炉辺の会)をクラッセホテルで開催いたします。出欠の返信が2月13日(火)までと、期間が短くて申し訳ありませんが返信をお願いします。

③ 本日例会終了後、会員組織委員会と増強特別委員会を開催いたしますので、該当会員は出席をお願いします。それに伴い本日理事会を開催予定でしたが、3月1日(金)に変更します。

④ 改めて御案内いたしますが、来月3月15日(金)は、夜間例会・宏楽園にて18:00点鐘で開催いたします。

例会プログラム

■ 伊藤会員 年男卓話



年男はあまり意識したことが無く、60歳の時ロータリーで「年男の抱負」の卓話をした時くらいだ。今年は6回目の年男。ふと今までの年男の年ほどんなことがあったかな?と振り返る。

1回目、12歳(昭和39年)中学1年、親父は消防士だが、祖父(大工)と二人で自宅を新築するために桜町に移転。家造りを手伝い真っ暗な五右衛門

風呂と虫との闘い。この時から虫に恐怖を覚える一年。

2回目、24歳(昭和51年)大学卒業・就職、学業そっちのけでクラブ活動に明け暮れ単位を落とし、教授に就職が決定していると追試験をお願いした。何をやりたいたでもなく、ただ北海道に戻りたく現会社に就職。がむしゃらに働き、肉体・精神ともに非常にプレッシャーがあったが、今の自分を形成した1年。

3回目、36歳(昭和63年)腰椎の椎間板ヘルニアにより足の痛みと歩行困難になる。鎮痛剤の常用と車椅子の状況が続き、手術を決意して転院。正味3カ月以上療養。仕事・メンタル面において非常につらく、妻には心配、会社に大変迷惑をかけた1年。

4回目、48歳(平成12年)仕事において大規模物件が数件受託でき、大きく業績が伸び、心身ともに大変充実した1年。

5回目、60歳(平成24年)多趣味ではないので「色々な国を見たい。毎年必ず海外旅行に行くぞ。」と決め、まずはアンコールワットを決行。仕事・趣味のゆとりの1年。どんどんと今までの出来事が脳裏に浮かぶ。

今回6回目の年男を迎え、決意を新たに!と今年の抱負・目標を考えていたが、単純に「この1年を健康で。」をこれからのスローガンとして、まずは些細な決め事「週1回休肝日を設けよう。」が今年のテーマ。目標必達だが、いまだ実行できていない現況である。情けない。頑張らなくては。年男の抱負にならない年男の弁です。

■桂会員 能登半島地震医療支援卓話



1月17日、寒空のなか日本薬剤師会からの要請を受け、支援の手を差し伸べるため石川県輪島市門前町へ行ってきました。この町は、能登半島西部にあり曹洞宗の大本山總持寺を擁する門前町として名を馳せています。これまで中越、東日本、熊本、そして胆振東部の大地震の支援を経験し、今回は北海道からの薬剤師支援団として、その先遣隊として役割を担ったの派遣でした。

しかし、目的地までの道路は通常ではなく、迂回路を経ても崖崩れや落石に阻まれ、写真に収められたような過酷な道を進むのは一筋縄ではいきませんでした。現地に足を踏み入ると、新春の装いをそのままに崩れ去った家屋が、1月1日の元旦に起こった災禍の瞬間を凍結させるかのように静まりかえっていました。

避難所と言っても、ただの家屋であり、そこでは日常を忘れさせる酒盛りの情景も目にしました。私たちは、このような場所で暮らす被災者への健康相談と、必要とする医薬品の提供と、モバイルファーマシー（移動式薬局）を駆使しての調剤を通じて、地域医療に支援の手を差し伸べてきました。

支援場所の様子



会員誕生祝

佐藤 喜典 堀内万記子
村越 仁

おめでとうございます



会員結婚祝

太田 宏 村越 仁

おめでとうございます

まごころ箱・・・・・・・・・・いつも有難うございます！

ガバナー補佐 佐藤慶一様
斎藤 湊 会員…小樽文化貢献賞を受賞いたしました。
堀内 会員…1月30日北海道新聞にて共和町と災害時における消毒活動に関する協定を結んだことが載りました。中山会員に言われたのでニコニコを出します。
荒田 会員…思えばこんな歳まで生きて来たなあと思います。まだまだ頑張ります。
荒田 会員…お先に失礼します。

三栖 会員…先週の表彰式皆様ご苦労様でした。
桂 会員…能登半島地震の医療支援から無事に戻ってまいりました。
佐藤(喜) 会員…会員誕生日祝
太田 田 会員…結婚祝
福島 会員…夫人誕生日祝
新倉 会員…夫人誕生日祝

入金集計額 令和 5.7.1 ~ 令和 6.2.9 (28,000 円)

合計 **690,500 円**